



月刊
住宅情報誌
躍進
http://www.yakushin.jp



躍進の永遠の目標
価値ある「安心・空間・環境」を創造する

主な内容

- ②面 個人宅建設費用の平米単価、8605円上昇
- ③面 目的、用途で選べる塗料トリオが人気
- ④面 ドレン清掃と赤外線漏水調査システム

発行所
埼玉県さいたま市
見沼区中川106-1
☎048-688-3388
☎048-680-7615
株式会社 躍進
編集・発行人
笠井 輝夫
頒価：216円(送料込み)

特別寄稿



地域のホームドクター
としての使命と責任

住宅における
地域のお医者さん

平成もあと一年で幕を閉じ、新たな時代を迎えます。住宅業界においても、さまざまな潮流や技術の進歩があります。しかし、住宅がいかに快適で長く住み続けられるべき場所であるかという点では、いつの時代も変わらなさと認識しています。

そこで、今回は住宅業界において躍進の果たすべき使命と責任を明確にするため、現在の思いのたけを披露したく、特別寄稿として誌面を確保いたしました。

また、躍進は既に二〇〇九年に商標登録『地域のホームドクター』を取得しています。住宅に関する家守りとして、床下点検調査から、土台や柱



今後の住宅事情を、悲観的に見る方もおられますが、衣食住の文化は、人間が存在する限り欠かせません。確かに、少子高齢化と

人間社会の中で生きる
我々は、衣食住の恩恵無くして豊かな暮らしづくりは実現しません。

躍進は専門工事会社として、事業の二本柱(木材保存、防水工事、塗装工事)の技術経験を活かして、多くの実績を残してまいりました。

躍進は専門工事会社として、事業の二本柱(木材保存、防水工事、塗装工事)の技術経験を活かして、多くの実績を残してまいりました。

新築工事とその後のアフターの両輪で
お施主さまを守る

大規模なリフォーム、リノベーションをすれば再生蘇生する建物もありますが、時間とコストを考えると、建て替えた方がよいという建物も多く見受けられます。

「今ある住まいをより長く、安心して暮らせる住まいに蘇生」させ長寿命住宅を実現するには、耐久性・耐震性の向上は最重要。安心して暮らすためには欠かせません。

いわれ、住宅に関してはストックを活用する時代になりました。既存住宅の再生を重要視し、新築工事は減少する傾向にあります。もちろん、新築住宅の需要は無くなりはありませんが、過当競争は激しさを増すでしょう。

水や湿気対策が
長持ち住宅のための
最大のポイント

新築工事は、引き渡しからがお施主さまと一生のお付き合いが始まるのです。そして、その家を継承させるためには、住まいの点検とメンテナンスは必要不可欠です。

「地域のホームドクター」としての考え方を以下に述べたいと思います。日本の高温多湿な気候風土の中で、木造住宅の耐久性を高めるために必要なことは、水や湿気の被害から住まいを守ることに尽きます。

「今ある住まいをより長く、安心して暮らせる住まいに蘇生」させ長寿命住宅を実現するには、耐久性・耐震性の向上は最重要。安心して暮らすためには欠かせません。その中で、水や湿気を原因とする木材腐朽・経年劣化に対して「気付かなかった」ために、躯体そのものまで傷めてきた

住宅を、数多く見てきました。屋根からの雨漏れ、外壁からの雨水浸入による木材の腐朽・各部材の劣化や、床下の湿気による腐朽菌・シロアリの被害等…。木造住宅の劣化事象の多くが、水分を原因とする上、木材は水分に対する耐性が弱いので、雨漏れや結露に対する十分な対策が必要です。

定期的なメンテナンスを
欠かさないよう
にする

つまり、住宅の長期活用には、住まいの点検とメンテナンスの実施・継続が最も重要であり、必要不可欠で、長寿命住宅の第一歩です。

以下に、必ずメンテナンスすべき箇所とそのポイントを解説します。

●屋根
雨・紫外線により表面塗膜が劣化します。塗装や葺き替え等の定期的な

(二面に続く)

(一画より続く)
メンテナンスが必要となります。

●ベランダ

常に風雨にさらされている環境にあります。定期的な防水工事を行う必要があります。

●外壁

雨・紫外線により表面塗膜が劣化します。塗り替え等の定期的なメンテナンスが必要です。

●床下

目に見えない部分ですが、家を支える土台です。シロアリ、水漏れ、湿気によるカビの被害がないか定期的なメンテナンスが必要です。

木造住宅は、梁・柱・土台(軸組)が命であり、屋根材・外壁材を身を守るという、自ら軸組を守っているのです。

長く住んでいけば、家もあちこち傷んでいきます。老朽化が進むと、新築時のような高い性能が発揮されないこともあります。

日常生活のなかにも、劣化の原因は無数にあります。使用頻度の大きい部分は、それだけ劣化を引き起こしやすくなりますし、床や壁の摩擦や疲労

住宅本来の性能を維持する

家も適切なメンテナンスをせずに放置していると、あちこち傷んで劣化



『飛驒炭 床下調湿材』『カーボエース』
『床下用攪拌・換気システム』の
「床下三点セット」(左写真は、シロアリ・
腐朽菌対策商品としておなじみ)

おかげさまで、「足場パック」の目玉商品となりました。



床下用攪拌・換気システム

が広がってしまっています。雨、風、直射日光などによる日常的なダメージや、台風、地震などの自然災害は、建物にとって劣化の大きな原因となります。汚れや消耗、損傷などにより、見た目や機能の低下は避けられません。

劣、さらには建具や設備機器にも不具合が現れてくることでしょう。定期的な点検とメンテナンスをおろそかにし、結果的に大規模な補修が必要になってしまえば、費用も高くなってしまいます。

また、建物の劣化は耐震性や耐久性の低下につながるため、いざというときに住宅本来の性能を発揮できなくなってしまう。安心・安全に毎日を過ごすためにも、住まいの点検とメンテナンスは地域のホームドクター躍進へご依頼下さるようお願い申し上げます。お気軽にご連絡ください。

一般財団法人建設費調査会(東京・中央区)は七月十日、二〇一六年に着工した全国の個人住宅新築工事を対象に実施した「個人住宅工事費の価格傾向に関する研究(その三)」の調査報告書を発表しました。延床面積あたりの総工事費単価は一九万二六一五円/m²で、前回調査(二〇一五年九月発表)一八万四〇一〇円/m²に比べて八六〇五円(四・七%)上昇しました。

個人宅建設費用の平米単価、8605円上昇

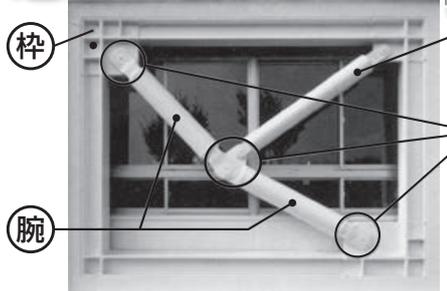
建設価格調査会調べ

サンプル数が最も多い関東地方は、同四二三四円(二・二%)増の一九万九〇二四円/m²でした。また、関東地方では、木造ツーバイフォー工法で高値の傾向、木造軸組工法で低値の傾向が見られました。

開口部や空いている壁面を補強するだけで

耐震性がアップ!

増幅機構付き油圧制震ブレース トグル制震構法



オイルダンパー
日立オートモティブシステムズ(旧トキコ)社製。
半永久的に使用が可能です。

クレビス(回転支承部)
強度に優れた鍛造品を使用しています。
鍛造品は、加熱した金属を金型で圧縮、打撃、鍛錬して成形されます。一般的に疲労度が大きい箇所や剛性が要求される部分に使われます。

鍛造品ではなく 鋳造品を使用!

お問い合わせは 躍進までお気軽に!
〒337-0043
さいたま市見沼区中川106-1
TEL 048-688-3388
FAX 048-680-7615
URL=http://www.yakushin.jp
E-mail=yakushin-no1@nifty.com

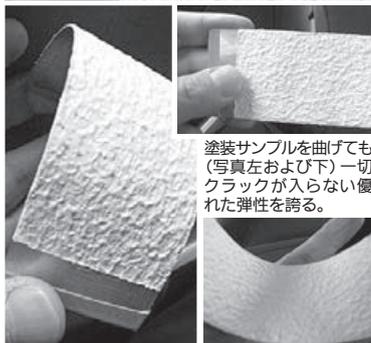
足場パックN(ネクスト)サマーキャンペーン

ビューグリーンウォール

遮熱塗料

エレガンストーン

目的・用途で選べる 塗料トリオが人気



塗装サンプルを曲げても(写真左および下)一切クラックが入らない優れた弾性を誇る。

トップコートが不要のつや消し塗料

外壁の塗り替え時を示す兆候として以下のような現象があげられます。

- ① 外壁を手でこすると手に粉が付いてくる。
- ② 外壁の汚れが目立つ。
- ③ 塗膜が剥がれている。
- ④ 外壁にひび割れが入っている。

もしこれらの症状が一つでもあてはまったら、それは塗り替えの時期がきているサインです。

外壁の再施工では、高弾性のつや消し塗料としてすっきりおなじみとなった「ビューグリーンウォール」をお勧めしております。柔らかいのに汚れにくく、塗膜表面にナノビーズが配列され汚れ



躍進本社の社屋・屋根根において熱交換塗料を塗装し(右写真参照)、熱交換効果に関するデータも取得しています。

また、子供たちに熱交換塗料を塗布したエリアに立つてもらい、炎天下でも足裏が熱くならないことを示しました(右下写真参照)。

さらには表面はラジカル架橋によって汚れを跳ね返す強靱な塗膜となっており、トップコートが不要なのです。

熱を貯めにくく 耐久性も高い

夏季の定番商品の遮熱塗料の特徴は、二五℃を分岐点に、入熱をコントロールするところにあります。

塗面は熱を貯めにくい性質をもち、同時に高い耐久性を示します。気温が二五℃以上の場合、緩和反応を示します。

また、気温が二五℃を下回ると、熱収縮が始まり機能材の構造特性によって、室温低下を抑制します。

また、気温が二五℃を下回ると、熱収縮が始まり機能材の構造特性によって、室温低下を抑制します。

自然石調の装飾仕上塗材『エレガンストーン』は、自然石の無機系素材がベースで、建物のエンタランス部分に用いるだけでなく、戸建て住宅の外壁にも用いられています。自然の風合いを活かした意匠性を持ち、壁面を多彩に演出します。

本誌はモノクロ印刷で



高級感溢れる 自然石調の風合い

【意匠性】
豪華な自然石調の仕上がりが得られます。

【耐久性】
無機系素材の使用により、耐久性に優れます。

【超低汚染仕様】
超低汚染型のクリヤートップを施工することで、耐汚染性を向上させることができます。



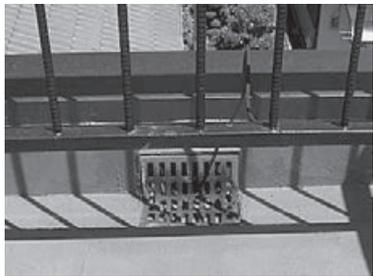
http://yakushin.jp/exterior-painting/

主な特長は以下の通り。

すので、色合いをはじめ、全体的な風合い、さらに施工手順は、左記のQRコードならびにURLでご確認ください。

足場パックN(ネクスト)「サマーキャンペーン」も大詰めを迎えています。ぜひ「塗料トリオ」をご利用いただき、家の資産価値をアップさせてください。ご連絡をお待ちしております。

台風、ゲリラ豪雨などの大雨から家を守る ドレン清掃と赤外線漏水調査システム



秋季の枯葉は言うに及ばず、一年を通して溜ま

さらなる防水処理を 清掃に加え

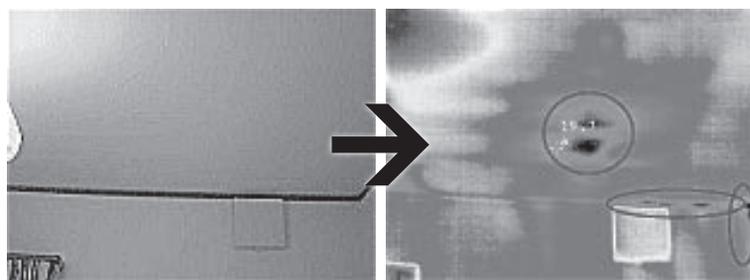
大雨から住まいという財産を守るためには、日ごろの備え、メンテナンスが欠かせません。そこで、躍進では、バルコニーのドレン清掃と『赤外線漏水調査システム』をご案内しております。

七月に西日本を襲った未曾有の豪雨は、二〇〇人もの死者を出し、各地で甚大な被害をもたらしました。被害者、関係者のみなさまには、心からお見舞い申し上げます。「特定非常災害」に指定されるなど、雨の恐ろしさをまざまざと見せつけられました。が、何十年、何百年に一度発生する大地震と違い、大雨は毎年起こりうるものです。

つた様々な塵芥が、バルコニーのドレン部分に蓄積しています。それをそのままにしておき、台風やゲリラ豪雨に見舞われますと、オーバーフローを起し、バルコニー全体の劣化を促進させるのです。

躍進では、リフォーム総合提案「足場パック」の一環としてドレン清掃を実施しております。そして、清掃に加え、さらなる適切な防水処理をお勧めしております。

さらなる防水処理を
清掃に加え
秋季の枯葉は言うに及ばず、一年を通して溜ま



株式会社 躍進

本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1
 東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F
 営業所 〒03-6804-2541 03-6804-2542
 URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com

関連会社 **不動産事業**
株式会社 ヤクシンジャパン

関連会社 **株式会社 First Arrows**
ファーストアローズ

事業内容

防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き

木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気 等

塗装工事：各種塗装

外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁 等診断